

歯科臨床・学術学会部

バキュームあて方学ぶ

患者に安心・安全を提供するために

かに患者さんに安心・安全で心地よく帰ってもらうかがポイントになる」と受講生に話した。バキュームのあて方の実習では、口腔内を6フロックに分けて、バキュームチップの角度や基本位置などについて、ポイントごとに良い事例や悪い事例を示しながら、和やかな雰囲気の中で実施された。

協会の歯科臨床・学術学会部は11月15日、港区のとみもと歯科で、「アシスタントのためのバキュームテクニック」講習会を開いた。講師は、同歯科医院の院長である冨本昌之理事が務めた。冨本氏は、「私たちが開業した頃は、歯科医院に患者があふれかえり、フォーハンドシステムが中心だった。今はどういう歯科医院も少なく、い



バキュームのあて方を実習する参加者



症例解説する中島氏
＝11月20日、なかしま歯科医院

の仕方が分かって良かったです。他のスタッフにも伝授します」「自分で気持ちいかなかった癖を、

では今後、年に2回バキューム実習を開催していきたいと、受講生から寄せられた。

歯科臨床・学術学会部

プラーク・Cが成否の要

ラインプ失敗例の対処法を解説

堺・高石・和泉
泉州地区(準)

インプラントを知り尽くした先生が慎重なことから、これから手がける先生は心してかかるべきだろう。11月20日に高石市内で開かれた講習会「インプラントの失敗

を、失敗症例のリカバリ事例を豊富に紹介し、説得力を持って訴えた。業者の方は、インプラントの10年後の喪失率が10%以内であることを強調するが、約3割は合併症や感染による病巣を抱えている。クラウンやインプラントの破損が認められ、これを差し引くと真の成功率は60%と考えたほうがよい。またインプラントは骨髄炎を起す危険性があり、抜歯によりほとんどの病巣が消える歯周病や根尖病巣とは異なり、後遺症への警戒が必要である。

「保険で良い歯科医療の実現を」全国連絡会総会

新署名の取り組みなどの方針

患者アンケートまとめパンフに

「保険で良い歯科医療の実現を」全国連絡会が11月15日、第10回総会を東京の新宿農協会館で開いた。国会請願署名や自治体の意見書採択など全国を取り組みが交流され、来年から新しい国会請願署名に取り組みなどの次期活動方針案が討議され採択された。

総会には、東京、千葉、愛知、長野の4都県の連絡会の代表を含め、全国14県から歯科医師、歯科技工士、市民など37人が参加した。来賓では、海外技工裁判の原告である脇本征男氏が、裁判の状況報告や、違法な海外技工を止めさせるための20万署名への協力を訴えた。

会員署名

「2200億削減をまずやめよ」

「社会保障費の削減撤回と医療改善の緊急施策を求める要請書」に寄せられた声

協会は来年度の予算編成にむけて、社会保障費の2200億削減の撤回や、歯科診療報酬の改善を求めて、開業医会員比5割目標で12月の中旬まで、会員署名に取り組んでいる。署名に寄せられた、会員からの声を掲載する。

・若い歯科医師が希望を
持てる歯科界へ
・他国の軍事費負担より、自国の民生福祉の充実を
・患者の負担割合を以前
のように1割にまでして

ほしいです
・このままでは医療界が
崩壊するのでは...
・国民一人ひとりに安全
な医療を。アメリカの方
法を見習うより、ヨーロ
ッパ、北欧の医療を見習

ほしいです
・2200億削減をま
ずやめること。いずれの
こともこれをやめること
より始まる
・一部の人だけがよ
くなる政治ではなく「み

を望みます
・社会保障費を圧縮し
て、他に何につかうのか。
私は意味がわかりません
・小泉政権の負の遺産で
ある、後期高齢者医療制
度大反対、即廃止すべき
です。様々な制限、差
別がありながら保険料が
どんどん上がっています
。老後の地獄、姥捨て
山です(本年度だけでも
私達9万5062円高く
なりました)
・歯科の研究費に医科並
の予算をください。大学
で教えてもらったことを
保険で臨床の場でできま
すように
・歯科の低診療報酬。特
に欠損補綴の点数の改善

療、介護等の方にまわれ
ば、だれも文句を言わな
い。道路と人の金と同じ
ように考えてほしい
・後期高齢者医療制度に
なり歯科医師国保の何倍
も高く1カ月3万662
0円も掛け、窓口は3割
負担で区役所に収入も減
らなくなってると不平を言
うと国の定めですと言わ
れ、高齢者は皆不満で
す。制度廃止を早く実現
していただきたい
・社会保障費を削減する
前に、大幅な国会議員、
官僚のリストラならびに
人件費削減を
・社会保障費削減を考え

た。最後に「それでも、
インプラント打ちたいで
すか」と穏やかに述べた
(阪南市・土田仁)

一言が、受講者一人ひと
りの胸に響いた。

でなく医療全体が崩壊し
ます。安心して暮らせる
社会にしてください
・無駄、不要な歳出の削
減もほとんど着手せず、
必要な歳出削減と増税に
よる歳入の増加のみを企
てることしかしていない
ように感じる
・現在、未来への不安が
ないことが、最も大切な
こと!

・法人税UP、公務員改
革、公益法人の見直し、
まずこの3点をクリアし
てから消費税UPの議論
をすべき。国のやっている
ことはまったく本末転倒
している!!!

医院と患者さんの定期便 医院新聞 共同発行会

手間要らずで安価に

ベースは協会が責任編集
記事の一部は差し替え可能
各医院のオリジナル紙面
会報に読者意見を集約

隔月(奇数月)発行 B5判 4ページ建て100部 14,100円から
お問い合わせは 協会事務局 ☎06-6568-7731へ